

エゾシカワーキンググループ経過報告・今後の予定

1 H20シカ年度 第2回エゾシカワーキングの概要(平成20年1月13日開催)

(1) 主な検討事項

- ・ H20シカ年度の実施結果等の報告
- ・ H21シカ年度に向けた検討
- ・ 知床におけるエゾシカに関する指標開発について

(2) 知床岬における密度操作実験の実施結果の報告

- ・ 今冬は、3年計画の2年目としてメス成獣120頭以上(3月までの年度内はメス成獣40頭)の捕獲を目標
- ・ 流氷到来前の時期では、平成20年11月から12月までの期間で人数の日帰り行程により3回実施
- ・ 捕獲方法は森林内の巻き狩りにより実施
- ・ これまでのところ積雪が少なく台地草原上へのエゾシカの集結が十分ではなかった

表 捕獲頭数の概要

捕獲頭数の概要	H20シカ年度			(参考)H19シカ年度	
	11月27日	12月3日	12月17日	12月9-12日	1月23日
総捕獲数	38	5	7	32	1
うちメス成獣	26	2	6	23	1

2 主な検討課題

(1) 密度操作実験

- ・ 2年目までの結果を踏まえ、知床岬や他地域を含め技術的・労力的な面から実現可能性を検証していくことが必要
- ・ 希少猛禽類との関係については、専門家の意見を聞きながら実施していく考え
- ・ 希少猛禽類とエゾシカ管理の関係者間の情報交換についても検討

(2) 知床におけるエゾシカに関する指標開発

- ・ シカ生息数の変動と植生の変移との関連を整理することが必要
- ・ 世界遺産委員会の指摘を踏まえ、具体的な指標開発を進める
- ・ 基本的な考え方等については別紙「知床におけるエゾシカに関する指標開発について」のとおり

3 今後の主な予定

(1) 知床岬における密度操作実験

- ・ 流氷明けの平成21年3月から平成21年5月の越冬期に実施予定

(2) H21シカ年度 第1回エゾシカワーキング(平成21年6月頃開催予定)

- ・ H20シカ年度実行計画の実施状況の報告、評価
- ・ H21シカ年度実行計画の策定
- ・ 指標開発に関する検討